

水の知（サントリー）総括寄付講座の研究指針

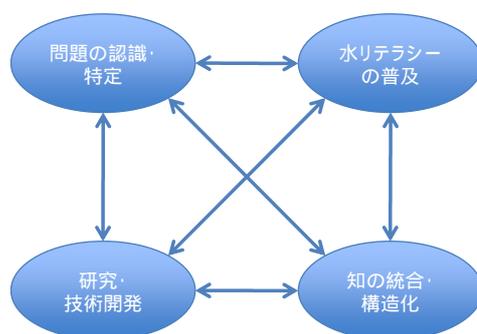
研究指針

本講座は、広く社会に「水の知」を普及するために、最先端の水の知識を集約し、体系化するシンクタンクとしての機能を持ちます。

「健康で文化的な暮らしを支える豊かな水環境の実現」に取り組みます。

東京大学総括プロジェクト機構「水の知」(サントリー)総括寄付講座は、分野・組織横断的な観点から、国内外の水問題の取り組みや次世代人材育成を実施する点に大きな特徴があります。「水の知」とは、科学技術のみならず、歴史や文化など、人と水との関わりあいに関する総合的な知識体系を指します。この知識体系は、水問題の発見と特定、先端的な研究や技術開発、獲得された知識の統合と構造化、水リテラシー（水問題に対する意識と解決への適切な知識）の普及、を相互に連動しながら実施することで、進展するものと考えられます。

本講座では、「健康で文化的な暮らしを支える豊かな水環境の実現」を主軸とし、分野・組織横断的な特長を最大限に生かして総合的に問題を認識し、その解決方法を模索します。これに向け、国内外の課題とその解決方法に関する最先端の水の知識を本講座に集約し、体系化するシンクタンクとしての機能を持ちます。研究活動の成果は、市民・小中学生・高校生・大学生・企業向けのセミナー、講義、コンサルティングを通じて広く社会に公開し、「水の知」の普及を実施します。



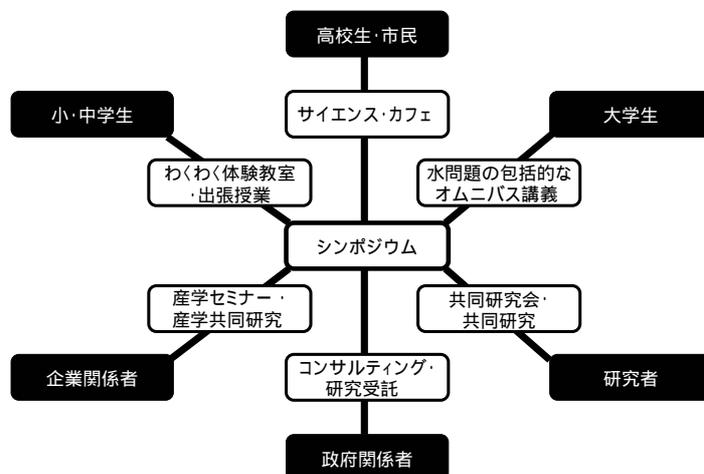
「水の知」(サントリー)総括寄付講座の活動

「水の知」(サントリー)総括寄付講座への関わり方

本講座は研究成果を一方向的に発信するだけではなく、水問題や水の知に関心のある市民・学生・研究者・政府関係者・企業関係者などの参加を広く受け入れ、より統合的な水の知を構築していく予定です。

「サイエンス・カフェ」・「オムニバス講義」を年1回程度実施する予定です。また、サントリーが開催する「水育親子わくわく体験教室 in お台場（毎年8月1日開催）」や「水育出張授業」にて、本講座の教員も講師やアドバイザーとして「水の知」の普及に貢献します。奮ってご参加ください。

これらの本講座への参加機会に関する情報を本講座ウェブサイトですぐ告知していく予定です。また、これ以外にも、本講座との連携企画の提案は歓迎しますので、講座事務局までご相談下さい。



「水の知」(サントリー)総括寄付講座への関わり方

活動内容

1. 「水の知」の集約と情報発信

人口増加および気候変動に伴う水循環・水資源需給量の変化への対応

気候変動、人口増加、経済発展および都市化に伴い、水資源の供給可能量や需要量が変化し、水不足がさらに深刻化する地域の広がりが懸念されています。海水淡水化や排水の再利用といった技術が解決策として期待されていますが、地域ごとに最適な対策が異なることが考えられます。このような現状を踏まえ、地域の特性を把握しながら水問題を多面的に捉え、課題の特定を行います。

水のライフサイクルアセスメント（LCA）手法の構築と普及

水利用は取水起源、利用形態、処理方法次第で、地球環境および水資源そのものの持続性に大きな影響を及ぼします。従って、目先の水消費量だけでなくこれら一連のプロセス（ライフサイクル）およびそれによる周辺環境への影響を包括的に評価することが持続的水利用のためには不可欠です。本講座では、上記の点をふまえ（エネルギー消費量やCO₂排出量をベースにした）従来のLCAを拡張した概念・評価手法を構築し、社会に発信していきます。

水に関する最先端知識の発信

サントリーでは、水に関する知見をまとめた「水大事典」をウェブサイト上で公開しています（<http://www.suntory.co.jp/company/mizu/jiten/>）。そこには、世界中の水資源量、私たちが使う水の利用量や水の保全の仕方などが紹介されています。本講座の活動を通じて特定した“解決すべき水問題”や“最新の知見や技術”を分かりやすく解説したものを集約し、この「水大事典」を発展・増強します。

2. 健康で文化的な暮らしを支える水環境の実現

森林保全と水源管理の科学

森林の保全は健全な水源を守るためには欠かせない要素です。しかし、今後の気候変動に伴う降雨パターンの変動や気温上昇による樹木の種類や成長の変化などを考慮すると、健全な森林と水源を守るためには、水の供給量や必要可能量の評価といった科学的裏づけが欠かせません。良質な水を持続的に確保するための適正な森林保全と水源管理手法を研究します。

都市水環境における汚染物質の動態解析とリスク管理

安全で安心な水への期待と需要は、今後ますます増加すると予想されます。近年、現行の浄水処理プロセスでは除去しにくいような汚染物質が水道水に含まれ、発ガンなどの健康被害をもたらしていることが明らかになってきました。さらに、気候変動による渇水と都市域への人口集中により、水質が悪化し、健康リスクが増加することが懸念されています。そこで、都市水環境における様々な汚染物質の起源と動態を明らかにし、汚染物質による健康リスクを定量化した上で、効果的な水処理技術の開発や負荷源別の削減対策の提案を行います。

統合的水資源管理の実現へ向けた国内外の地域研究

水源地の管理や生活用水・工業用水・農業用水の用途間配分を適切に行うには、治水・利水・環境を考慮しながら流域全体を統合的に管理する視点が必要です。さらに、複数の国を流れる国際河川の流域では、各国の政治・経済・文化・歴史などの社会的な背景を考慮することも必要です。本講座では、国内外の代表的な地域を対象に、流域単位での水資源の最適配分に基づく統合的管理方法を提案し、政策立案過程における意思決定支援情報を社会に発信します。



東京大学
The University of Tokyo

〒113-8654 東京都文京区本郷 7-3-1
Website: http://www.u-tokyo.ac.jp/index_j.html

SUNTORY

サントリー株式会社
Suntory Limited

〒530-8203 大阪府大阪市北区堂島浜 2-1-40
Website: <http://www.suntory.co.jp/>

東京大学総括プロジェクト機構「水の知」(サントリー) 総括寄付講座
"Wisdom of Water" (Suntory), Corporate Sponsored Research Program,
Organization for Interdisciplinary Research Projects, The University of Tokyo

〒153-8505 東京都目黒区駒場 4-6-1 Phone: 03-5452-6384 Fax: 03-5452-6383
E-mail: info@wow.u-tokyo.ac.jp Website: <http://www.wow.u-tokyo.ac.jp>



教授
沖 大幹



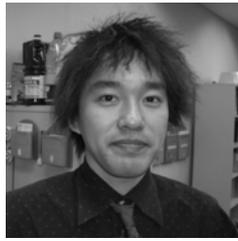
特任准教授
横尾 善之

生産技術研究所
人間・社会系部門 沖・鼎研究室
Oki-Kanae Laboratory
Institute of Industrial Science

〒153-8505 東京都目黒区駒場 4-6-1
東京大学生産技術研究所 Be605-608
Phone: 03-5452-6382
Fax: 03-5452-6383
Website: <http://hydro.iis.u-tokyo.ac.jp/indexJ.html>



教授
滝沢 智



特任助教
村上 道夫

工学系研究科
都市工学専攻 都市水システム研究室
Urban Water Systems Laboratory
Department of Urban Engineering

〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1
東京大学工学部 14 号館
Phone: 03-5841-6241
Fax: 03-5841-8532
Website: <http://www.urbanwater.t.u-tokyo.ac.jp/>



教授
中山 幹康



特任助教
田中 幸夫

新領域創成科学研究科
国際協力学専攻 中山研究室
Nakayama Laboratory
Department of International Studies

〒277-8563 柏市柏の葉 5-1-5
東京大学柏キャンパス 環境棟 768 号室
Phone: 04-7136-4869
Fax: 04-7136-4870
Website: <http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/nakayama/>